

令和4年度 板野高等学校 第2回学校運営協議会協議会 議事録

1 日 時

令和4年11月24日（木） 午後4時から午後5時まで

2 場 所

板野高等学校 会議室

3 会 議

(1) 開会

(2) 会長挨拶(四国大学 生活科学部 上岡教授)

新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなか、教育のあり方を工夫しておられると思う。この協議会が有意義な教育のあり方の助けとなるよう有意義な会としたい。

(3) 学校長挨拶

新型コロナウイルス感染症第八波に突入し、本校でも3年生に複数の陽性者が発生し、本日、明日と学年閉鎖としている。このような中、学校行事等への影響は多くある。より一層の感染対策を行っていく。

また、人口減少や自然災害、紛争などさまざまな課題を抱える社会に生徒たちを送り出すため、「自ら考える力」「他者と協働する力」を身につけさせたいと考えている。

①習熟度別少人数制授業を行い、個別最適な学びを通して、自主的に考える力を身につけさせる。

②ボランティア活動・インターンシップ等の体験的な活動を通して協働する力を身につけさせる。

こういった取り組みを通して社会を切り開いていく人材を育成したいと考えているが、本日の会で忌憚ないご意見を賜り、本校教育をより充実させていくためにご協力いただければと考えている。

(4) 協議

① 学校状況報告（概要）について

◎スクールポリシーにもとづく教育活動の実施状況について

○ボランティア活動

お接待・通学路清掃等のボランティア活動を通して「社会に貢献しようとする生徒の育成」を目指す。

○インターンシップ

勤労観・職業観の育成を目標に、1年生全員が2月に2日間実施、3月に実施報告会を行う予定。働くことの意義を意識できる生徒の育成を目指す。

○読書活動の推進

「心豊かな人間の育成」を目標に、朝10分間の読書活動を実施

「読書マラソン」「読書会（ミニビブリオバトル）」を実施

○ 創立記念講演会

道の駅「いたの」より小川満大駅長を講師にお招きして講演会を行った。

その後、3年生が実際に道の駅「いたの」での地域研修を行った。

○人権意見発表会

全校生徒に人権意見作文を提出させ、選考された代表による意見発表会を行った。

◎県の教育施策に対する学校の取り組み状況について

○GIGA スクール構想の展開

授業改善 ICT のスキル向上のため、公開授業を实践

《例》中学生体験入学・オープンスクール・県教委学校訪問

生徒会役員選挙の立ち会い演説会を Zoom で行い、1, 2 年生はネット投票を実施。

GIGA 推進月間中の公開授業

○働き方改革の推進

ICT や外部人材の活用による負担軽減

《例》生徒のアンケート実施・集計を ICT を用いて行う

配付資料をタブレット上にアップロードする。

外部講師による出前授業を行う。

○ダイバーシティとくしまの実現

中学校時代に不登校傾向の生徒や支援を要する生徒が少なからず在籍。

教育相談研修会の実施や、道徳教育の指定事業を通して、誰もが取り残されないような教育活動を目指す。

◎その他の教育活動の実施状況について

○進路

就職希望生：求人数がコロナ前に復活傾向。順調に内定をいただいている。

専門学校希望生：多くの生徒が順調に合格をいただいている。

大学進学希望生：大学・短大は県内私立を希望する者が多い。

公募制推薦入試が現在行われている。

国公立大学志望者は現在受験活動中

○生徒指導

学年と生徒指導課の連携がよくとれており、組織的な対応により現段階で大きなトラブルはない。

○学習指導

ICT の活用、少人数授業など、学力に応じた学習指導を行っている。

○部活動

ウエイトリフティング部が四国インターハイ出場。

ボランティアとして開会式や競技運営補助に多数の生徒が参加し、知事から感謝状を受けた。

② 地域連携の取組状況（地域貢献）について

<写真・ビデオを映しながら説明>

「お接待」

今年116年を迎え、地元の連携や文化に根ざした様々な学習の一環として、お接待を実施。5月と11月に学校近くにある四国八十八カ所霊場第3番札所「金泉寺」でお接待

を実施。茶道の立礼式によるお点前披露でおもてなしを行った。家庭科研究部が作成した巾着袋を配布して、参拝された方へのお接待を行い、たくさんの人に喜んでいただいた。

「地域研修」

創立記念行事「講演会」として、今年度は、道の駅「いたの」の小川満大駅長を講師にお迎えし、道の駅を始めたきっかけや思い、地域との連携、板野高校に期待することなどを話していただいた。生徒会役員のみ対面で、他の生徒はオンラインで参加。生徒会役員からの質問にも丁寧に答えてくださり、道の駅でさまざまなことに取り組んでいることが分かった。

その後、3年生が実際に道の駅に行き、広域防災拠点としての役割を学び、生徒たちの防災意識を高める良いきっかけとなった。

#### ③ 令和4年度学校評価 中間評価について

安藝教頭

<HPの写真を映しながら説明>

令和4年度学校評価の中間評価・進捗状況について説明を行った。

#### ④ 各委員からの提言等について

- ・いじめ暴力行為の事件0ということから、子どもたちが大事にされていると感じた。
- ・校区内を回っていると、板野高校生が清掃を行っている姿を見る。地域に根ざした活動をしている様子に感心している。  
「お接待」などの地域の歴史を学びながら地域に根ざした活動を行うことが大切なのだと感じた。
- ・生徒たちのICTスキルの格差があるのではないかと思うがどうか。  
→「失敗を恐れず、積極的に使おう」を合い言葉に学校全体で取り組んでいく。
- ・道路で板野高校生から挨拶を受け、感心している。  
家に帰った後でインターネットゲームなどでのトラブルがあるように聞いているが、高校はどうか。  
→大なり小なりあると思うが、学校で取り上げられるほどの大きなトラブルは報告されていない
- ・帰宅時の交通ルールについて 無灯で走っている生徒を何人か見かけたことがあるので、注意を促してほしい。

第2回学校運営協議会（2月24日の予定）について連絡した。

総括

上岡会長から総括が行われた。

「体験」と「ハイブリッド型の教育システム」を二つの軸に教育活動が行われている。大学ではボランティア活動が単位に当てられることもある。高校時代の経験が生きるものでしっかり頑張してほしい。

(6) 閉会